令和5年 6月吉日

ロゴ, 会社名

自動的に生成された説明

**一般社団法人「地域国土強靭化研究所」 ご入会のご案内**

拝啓

貴下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の厳しい社会情勢の急変にかんがみ，2020年7月1日に，**「“先義後利”を以って“共助と自他共栄”を実現する」**ことを社是とした新しい組織として，**一般社団法人「地域国土強靭化研究所」**を設立し，令和5年７月１日をもって4年目を迎えることになります。その間，順調に推移してまいりましたのは，ひとえに皆様方のご理解とご協力のお陰と心から感謝する次第です。

当一般社団法人は，業種や分野を超えた方々の知恵と知識を動員して，**(i) 大地動乱と気候変動下にある地域国土の強靭化**とともに、**(ii) 脱炭素社会への適切な対応**を可能とする技術提案と開発を推進し，以って地域社会の安心・安全に貢献することを目指しています。

本法人では，上記のような新しい時代における困難な委託業務に的確に応えていくために，特に，以下の実現を目指しております。

**１）気候変動下での新しい技術やビジネスを創生し，地域社会へ展開する**

**２）気候変動下における地域における建設業と建設関連事業の在り方を提言する**

**３）気候変動下における地域のニーズ応えられる人材育成を支援する**

**４）以上をもって，気候変動対応を中心としたSDGsや脱炭素社会の実現に資する**

つきましては今後の活動を円滑に進めていくために，別紙のとおり入会の募集をさせていただきます。会員の種別と特典は＜別紙1～4＞に示す通りです。上記の目標の達成のための下記の業務につきましては，役員を中心とした社員の連携をもって対応いたします。

**1．困難な課題を受注して適切にお応えをする**

**2．時代の要請に応じた課題の解決方法を模索し，新たなビジネスの提案をし，展開する**

**3．社員及び非社員の組織や機関から要請された研修業務にはご要望に応じて対応する**

**4．オンラインを有効利用したサービス（オンライン研修・オンライン講座・通信添削・なんでも住宅相談など）を提供する**

**5. 会員の所有する情報や業務成果を書籍出版などを通じて、できるだけ広く公表する**

当法人の運営は、委託業務の推進と合わせて，主として，会員様による基金，入会金，会費及び寄付金の自主財源により独立した中立的な組織として活動して参りますので、本法人の趣旨と目的をご理解いただき，ご支援を賜りたく，お願い申し上げます。

敬具

一般社団法人「地域国土強靭化研究所

代表理事　安原一哉

代表理事　安原一哉

令和2年 月 日

一般社団法人「地域国土強靭化研究所」 入会のご案内

拝啓

貴下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の厳しい社会情勢の急変にかんがみ，このたび，「“前義後利”を以って“共助と自他共栄”を実現する」ことを社是とした新しい組織として，一般社団法人「地域国土強靭化研究所」設立することに致しました。

当一般社団法人は，業種や分野を超えた知恵と知識を総動員して，地域国土の強靭化とともにNew Normal への適応を図り，以って地域社会の安心・安全に貢献するために組織されました（令和2年7月1日開業予定です。概要は，添付資料PPTをご覧ください）。

本法人では，新しい時代における困難な委託業務に的確に応えていくとともに，特に，以下のような新たな展開を目指しています。

**１）アフターコロナ・ウイッズコロナ社会における建設事業と建設関連事業の在り方を考え，提言する**

**２）New normal から生まれる新しい技術やビジネスを創生する**

**３）New normal に応えられる人材育成を支援する**

つきましては今後の活動を円滑に進めていくために，別紙のとおり入会の募集をさせていただくことに致しました。会員の種別と特典は別紙１に示す通りです。上記の目標の達成のために実施していく下記の業務につきましては，理事を中心とした社員全体で対応いたします。

**１．困難な課題を受注して適切にお答えをする**

**２．時代の要請に応じた課題の解決方法を模索し，新たなビジネスの提案をする**

**３．社員及び非社員の組織や機関から要請された研修業務にはご要望に応じて対応する**

**４．オンラインを有効利用したサービス（オンライン講座・通信添削など）を提供する**

当法人の運営につきましては、会員様による入会金，会費及び寄付金の自主財源により独立した団体として活動して参りますが、中立性を維持し安定した組織運営を行うために別途基金の募集もさせて戴きますので、本法人の趣旨と目的をご理解いただき，ご支援を賜りたく，お願い申し上げます。

敬具

一般社団法人「地域国土強靭化研究所」

代表理事　安原一哉

（茨城大学　名誉教授）

「地域国土強靭化研究所」 個人会員入会申込書

令和　年　月　日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな  ご氏名 |  | |
| ご所属 | 所属機関名： | |
| 役職 | |
| ご連絡先 | 〒 | |
| 住所： | |
| 電話 | FAX |
| e-mailアドレス | |
| 推薦者または紹介者  ご所有のご資格  （学位も含む）  研究所が行う研究会などの活動に関するご意見、ご希望がありましたら  ご自由にご記入ください。 | | |

「地域国土強靭化研究所」 個人会員入会申込書

令和　年　月　日

「地域国土強靭化研究所」特別賛助会員および賛助会員（法人会員）入会申込書

令和　　　年　　月　　日

　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　　　印

下記のとおり申込みします。

### 講演会や研究会参加者，継続教育受講者 5 名（上記代表者を含む）の氏名及び

### e-mailをご記入ください。

　※参加者，受講者が交替した場合には、事務局にご連絡ください。

反社会的勢力排除に関する誓約書

上記の入会申込にあたり、私・当団体代表は、現在および過去５年間、暴力団・暴力団員・暴力団準構成員・暴力団関係企業・総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力団等、その他これらに準ずる者（以下、これらを「反社会的勢力」という）に該当しないことを表明し、以下の通り署名により誓約致します。

ご署名：

令和　年　月　日

　（ご署名）

(自書のサインをお願いします)

「地域国土強靭化研究所」 個人会員入会申込書

令和　年　月　日

令和 年 月 日

一般社団法人「地域国土強靭化研究所」（http://lrri.or.jp）

ご協力のお願い

大学　／　　研究所 様

拝啓

貴下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の厳しい社会情勢の急変にかんがみ，このたび，**「“先義後利”を以って“共助と自他共栄”を実現する」**ことを社是とした新しい組織として，**一般社団法人「地域国土強靭化研究所」**を設立することに致しました。

当一般社団法人は，業種や分野を超えた方々の知恵と知識を動員して，地域国土の強靭化とともに“新しい日常” への適応を図り，以って地域社会の安心・安全に貢献して参ります。また，このような目標の達成のために実施していく下記の業務につきましては，役員を中心とした社員全体で対応いたします。

**１．困難な課題を受注して適切にお応えをする**

**２．困難で新たな課題の解決方法を模索し，新たな技術やビジネスの提案をし，展開する**

**３．社員及び非社員の組織や機関から要請された研修業務にはご要望に応じて対応する**

**４．オンラインを有効利用したサービス（オンライン研修・オンライン講座・通信添削・なんでも住宅相談など）を提供する**

当法人の業務推進のうち，コンサルティング業務につきましては，【事業部】で，新たな技術の提案や普及・展開につきましては，【技術開発・展開部】において設置します「研究会」において，社会人継続教育のサポートにつきましては【教育支援部】において進めてまいる所存です。　　　つきましては，貴殿におかれましては，下記のような点でご助力いただければ幸いです。

1. **コンサルティング業務のご助言を戴く**
2. **研究会の座長・副座長を務めて戴く**
3. **技術者教育講座などの講師を務めていただく**

（業務に関わります謝金・交通費等は法人の規定に従って，支払わせて戴きます。）

以上，本法人と研究会の趣旨と目的をご理解いただき，ご支援とご協力を賜りたく，重ねてお願い申し上げます。

敬具

一般社団法人「地域国土強靭化研究所」（http://lrri.or.jp）

代表理事　安原一哉

令和2年 月 日

一般社団法人「地域国土強靭化研究所」 入会のご案内

拝啓

貴下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨今の厳しい社会情勢の急変にかんがみ，このたび，「“前義後利”を以って“共助と自他共栄”を実現する」ことを社是とした新しい組織として，一般社団法人「地域国土強靭化研究所」設立することに致しました。

当一般社団法人は，業種や分野を超えた知恵と知識を総動員して，地域国土の強靭化とともにNew Normal への適応を図り，以って地域社会の安心・安全に貢献するために組織されました（令和2年7月1日開業予定です。概要は，添付資料PPTをご覧ください）。

本法人では，新しい時代における困難な委託業務に的確に応えていくとともに，特に，以下のような新たな展開を目指しています。

**１）アフターコロナ・ウイッズコロナ社会における建設事業と建設関連事業の在り方を考え，提言する**

**２）New normal から生まれる新しい技術やビジネスを創生する**

**３）New normal に応えられる人材育成を支援する**

つきましては今後の活動を円滑に進めていくために，別紙のとおり入会の募集をさせていただくことに致しました。会員の種別と特典は別紙１に示す通りです。上記の目標の達成のために実施していく下記の業務につきましては，理事を中心とした社員全体で対応いたします。

**１．困難な課題を受注して適切にお答えをする**

**２．時代の要請に応じた課題の解決方法を模索し，新たなビジネスの提案をする**

**３．社員及び非社員の組織や機関から要請された研修業務にはご要望に応じて対応する**

**４．オンラインを有効利用したサービス（オンライン講座・通信添削など）を提供する**

当法人の運営につきましては、会員様による入会金，会費及び寄付金の自主財源により独立した団体として活動して参りますが、中立性を維持し安定した組織運営を行うために別途基金の募集もさせて戴きますので、本法人の趣旨と目的をご理解いただき，ご支援を賜りたく，お願い申し上げます。

敬具

一般社団法人「地域国土強靭化研究所」

代表理事　安原一哉

（茨城大学　名誉教授）

「地域国土強靭化研究所」特別賛助会員および賛助会員（法人会員）入会申込書

令和　　　年　　月　　日

　　　　代表者名　　　　　　　　　　　　　　印

下記のとおり申込みします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 代表者名 | 役職名 氏名 | | |
| 事業所名 |  | | |
| 住 所 | 〒 | | |
| 担当部局 |  | 担当者 |  |
| 電　話 |  | FAX |  |
| e-mail |  | | |
| 申込口数  推薦者（または紹介者） | ロ（特別賛助会員，賛助会員，どちらかを丸で囲んでください） | | |

### 講演会や研究会参加者，継続教育受講者 5 名（上記代表者を含む）の氏名及び

### e-mailをご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属（部・課）／ご所有資格 | e-mail/ FAX |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

　※参加者，受講者が交替した場合には、事務局にご連絡ください。

反社会的勢力排除に関する誓約書

上記の入会申込にあたり、私・当団体代表は、現在および過去５年間、暴力団・暴力団員・暴力団準構成員・暴力団関係企業・総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力団等、その他これらに準ずる者（以下、これらを「反社会的勢力」という）に該当しないことを表明し、以下の通り署名により誓約致します。

ご署名：

参加ご希望アンケートご回答のお願い

ご所属　　　　　　　　　　　　　　ご氏名

ご関心のある課題や参加してみたい課題を（　）内に〇を記載してお教えください。（複数回答可）

**【受託業務and/or委託業務関係】**

（　）災害事前対応・事後対応設計施工業務：

　[具体的な課題があれば記載ください：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

（　）地盤改良・地盤補強業務：

　[具体的な課題があれば記載ください：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

（　）ICRTを利用したモニタリング業務：

　[具体的な課題があれば記載ください：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

（　）その他（自由にお書きください）

　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

**【技術開発・展開関係】（講演会，勉強会，研究会）**

（　）ポスト・コロナ＆ウィッズ・コロナ社会における建設業&建設関連業の在り方勉強会

（　）気候変動対応ビジネス研究会

（　）インフラリハビリ技術（劣化診断と保守・補強技術）研究会

（　）AI とICRT 利用共生＆共創社会研究会（Rはロボット）

（　）大地震と激甚水害に強い地域実現研究会

（　）茨城県を中心とした液状化被害のアーカイブ化と今後の新たな展開

（　）その他（自由にお書きください）

　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

**【教育支援関係】**

（　）資格取得支援サポート講習会

（　）地盤品質判定士会講座

（　）オンライン資格試験講座・ウエッブ利用通信添削

（　）技術士取得講座

（　）その他（自由にお書きください）

[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

**【その他】**

上記に属さないものでご希望がありましたらご記入ください。（本会をご紹介いただける組織や個人の方がおられましたら併せてご記入ください）

＜別紙－l＞

「地域国土強靭化研究所」研究会等運営規定

令和2年　７月 1 日

　令和3年　8月 6 日一部改正

（名称）

第1条　本法人は一般社団法人地域国土強靭化研究所（以下「研究所」という）と称する。

（目的）

第2条　研究所は国土強靭化に関する技術開発，調査研究，政策提案及び情報交換並びにそれらの支援を図り，会員の継続教育に資する。もって地域国土強靭化の形成に寄与することを目的とする。

（会員）

第3条　研究所は前条の目的に賛同する以下の会員をもって組織する。

（１）特別賛助会員（法人）

（２）賛助会員（法人）

（３）個人会員

（４）協力会員

（５）学生会員

なお、（１）（２）（３）の会員は公募するが，（４）の会員は公募しない。

（社員）

第４条　当法人の社員は，前条の(１)（２）(３)の会員の中から3名以上の会員の推薦を受け，社員総会の3/4以上の決議によって選出し，これを一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

（会計）

第5条　研究会の運営に要する経費は，会費，寄付金，委託研究費，競争的資金，コンサルティング料及びその他の収入により支弁する。会費の額は別に定めるものとする。

２　研究会の会計年度は、毎年7月１日に始まり翌年6月３0日に終わる。

（事務局）

第6条　事務局は，一般社団法人地域国土強靭化研究所内に置く。

（補則）

第7条　この規則に定めるもののほか，研究会の運営に必要な事項は，運営委員会に諮り定めるものとする。

（附則）

第8条　この規程は、令和2 年4 月1 日に遡って適用する。

２．令和3年8月5日に，一部改正。

３．令和５年５月２９日に，一部修正。

＜別紙－２＞

地域国土強靭化研究所内規

令和2年　７月 1 日

　　　　　 　 令和3年8月 6 日一部改正

令和5 年5月29日一部修正

　　（年会費及び関連事項、入会金）

　１．地域国土強靭化研究所規定による会費及び関連事項は，次のとおりである。

　　　　　①特別賛助会員：年額１口5万円（10口以上）

・目指す技術開発や技術展開の指導・支援

・特別賛助会員法人に所属する個人5名は講演会，研究会等への参加や継続教育の対象者とする。

②賛助会員：年額一口 5万円（1～９口，平均４口）

・賛助会員法人に所属する個人 5名は講演会，研究会等への参加や継続教育の対象者とする。

③個人会員：年額 5千円

・講演会，研究会，講習会等の参加対象者とする。

・講座や講習会は，別途資料代等を徴収することがある。

④協力会員　無料

⑤学生会員　無料

２．入会金は，次のとおりとする。

①特別賛助会員：２５万円

1. 賛助会員：１０万円
2. 個人会員：1千円
3. 協力会員　無料
4. 学生会員　無料

（基金）

「定款」第６章にあるように基金（株式会社の資本金に相当）の提供を受け付ける。拠出いただいた基金は拠出者と合意した期日までは返還しないことを原則とする。

（寄付金）

　　１．本法人は、寄付者の申込みを受けて、理事会で承認を受けることによって，寄付金を受領することができる。

　　２．寄付金は，寄付者の意向によって，次のいずれかとして受入れる。

　　　・一般寄付金（使途を定めないもの）

　　　・使途特定寄付金（使用目的を指定されたもの）

　　３．寄付金は，寄付者の意向に沿う形で，原則として当該年度の補正予算または次年度の予算に組込み，理事会の承認を受けて活用するものとする。

　　４．寄付金についての他の項目は，別途，細則に定めることができる。

（社員総会の議決権口数）

１．社員総会における議決権は，特別賛助会員および賛助会員は1 口につき5 個，個人会員は1 個とする。

（附則）

１．この内規は、令和2 年4 月1 日に遡って適用する。

２．令和3年8月5日に，一部改正。

＜別紙‐3＞

令和2年　７月 1 日

　令和3年　8月 5 日一部修正

令和5 年　 月 日一部修正

【会員の種別と特典】

会員の種別と特典は，以下のとおりである。

◆**特別賛助会員**

**・**　会員が目指す技術開発や技術展開の最優先支援

・　5名の会員参加

・　優先的な技術相談

・　全てのイベント（講演会，研究会，研修会、講習会，教育プログラム　　　　　など）への優先的参加

　　　・　年報や各種案内の取得，年報などへの広告掲載（1/2ページ），ホームページへの広告掲載

◆**賛助会員**

・会員が目指す技術開発や技術展開の優先支援

・5名の会員参加

・優先的な技術相談

・全てのイベント（講演会，研究会，研修会，講習会，教育プログラムなど）への優先的参加

・年報や各種案内の取得，年報などへの広告掲載（1/3ページ）

◆**個人会員**

* 自由な情報交流・情報取得・技術提案と紹介
* 全てのイベント（講演会，研究交流会，研修会，講習会，教育プログラムなど）への優先的参加

◆**協力会員**

・　事業に関する助言や研究会の推進など，必要に応じて法人から依頼する

・　会費は原則として無料

**◆学生会員**

・研究の推進に役立つ情報や知識を得るとともに成果やアイデアを披露でき，議論できる場を確保することができる

・分野横断的，分野融合的なプロジェクトに参加し，新たな知識や知恵を共有できる

・法人の活動への参加を通じて社会とつながり，多面的で有益な人的交流ができる

【補足】

1. 講演会参加は無料，別途開く「地域国土強靭化研究交流会」部会及び成果報告会参加も無料
2. 各種技術相談や交流会等への参加は会員優先（作業等が伴う場合は別途応相談）
3. 継続教育プログラム及び各種資格取得支援プログラム参加の場合は，資料代を徴

収することがある。

＜別紙‐4＞

【代表理事追記】

入会して戴きますと，「入会案内」に書いているほかに，以下のようなメリットがあります。

◆全体的  
・多様な業種や分野の方々が参加しますので，幅広い情報や人脈が得られる。  
・今後重要になるであろう課題の先取りができるので，他社に先駆けたビジネスの取り組みが可能になる。  
  
◆個別的  
・行政＆民間委託事業に対して法人内チームの一員として委託（法人内委託）を受けることができる。  
・社内研修サポートを優先的受けられる。  
・情報共有・情報交換会を通じた会員法人独自の所有技術や事例の紹介のプレゼンテーションが可能になる。  
  
◆期待される姿勢  
受動的ではなく，能動的に勝ち取っていく積極的な姿勢（法人の取り組みに対するご提案，御社の技術の積極的な紹介など）で臨んでいただければ，得られるものは倍増すると思います。

